

二〇二二年二月三日

藪巻を終へて松並威儀正す	愛正
黄落や築百年といふチャペル	むべ
行き戻る靴跡一つ冬河原	なつき
城壁をひろがり攀じる蔦紅葉	ぽんこ
岩壁を登るがごとく山の霧	愛正
墓に父母恋へば小春日吾をつつむ	素秀
蝶のごと風に舞ひつつ黄落す	わかば
大火鉢据えて老舗の料理店	はく子
宇治小春茶そば御膳に舌鼓	はく子
葦枯れて川に残りし渡し舟	素秀
寒木瓜のほのと紅差す陽射しかな	むべ

毎週句会秀句・みのる選・二〇二二年二月四日